

Vol.3
特集

特別養護老人ホーム 機能訓練指導員 島田 舞子
(作業療法士)

リハビリテーションを特別養護老人ホームに

彩光苑の特別養護老人ホームとショートステイには、機能訓練指導員として作業療法士1名と理学療法士1名、リハビリ助手1名の計3名で皆様のリハビリを担当しております。

リハビリ担当はどんな仕事をしているのかといいますと、一つ目が機能訓練です。これは、生活範囲が狭くなりがちな施設生活のなかで運動を通し、入居者様の健康状態のサポートをしております。また、意欲が少なく塞ぎがちな入居者様へは運動以前のケアをしながら、個々に見合ったリハビリ目標をたてリハビリを継続しております。

もう一つは作業療法です。作業療法とは「作業」を使ったリハビリであり、手芸や塗り絵、認知症予防に計算や書き取りを行う入居者様もいます。また、将棋クラブや塗り絵の会、俳句クラブなど、小集団で行う作業療法も実施しています。食事介助など実際の生活場面に関わり、入居者様と介護職員の様子を把握し、リハビリテーション評価に反映してリハビリの質の強化を図っております。これまで、リハビリ担当では、食事の際に車椅子から椅子へ座りかえ、食事に適した姿勢の確保や口腔体操の導入、ベッド上での排泄からトイレでの排泄へ移行するなどの取り組みをサポートしてきました。

最期まで入居者様のために

彩光苑のリハビリは決して元気な方だけが対象ではありません。看取りの入居者様には終末期リハビリテーションとして関節拘縮予防や安楽な姿勢の確保、疼痛の軽減を行いながら亡くなる最期まで日々考えながら関わらせて頂いております。

私は、生活の中に入ってその方の変化を一日を通して見ていきたいという思いで彩光苑に入職し、リハビリ職員として関わり約4年が過ぎようとしております。これからも、皆様に喜ばれるリハビリが提供できるようリハビリ職員一同で精進していきたいと思っております。



ふれあい広場「彩光苑ブース大盛況」

11月2日、ウイングハット春日部において「市民福祉まつり・第27回ふれあい広場」が開催されました。この「ふれあい広場」は地域交流と施設紹介を目的に春日部市周辺の施設やボランティア団体が独自の出し物や出店を行う福祉のお祭りです。

彩光苑では、ふれあい広場実行委員を中心に毎年参加しており、今回は「みんなで楽しむふれあい広場」と彩光苑独自のテーマを掲げました。ケアハウスの入居者様が収穫したサツマイモを使ったさつま汁や大きなフランクフルト、特養の作業療法作品などを出展し、彩光苑ブースは大盛り上がりでした。地域の人たちと触れ合うこともでき、楽しい時間を過ごすことができました。



理念

私たちは、地域の人々のために、共に手をつなぎ、一人ひとりを大切に、安心して暮らせるように「福祉・医療・保健」を連携させたサービスを提供します

- 基本方針 -

特別養護老人ホーム 彩光苑

- ・家族や地域の人々とともに、高齢者の尊厳を守りつつ寄り添うケアに努めます
- ・利用者のみなさまが、安全で安心して暮らせる環境を整えます

ケアハウス 彩光苑

- ・利用者のみなさまの声を大切に、いつまでも自立した生活が出来るよう支援します
- ・食事や入浴のサービスを通して、健康的な生活をささえます
- ・生涯にわたり、安心して生活を営むことができるサービスを提供します

内牧クリニック

- ・地域の人々の健康を願い、心のこもった医療を提供します
- ・誰もが気楽に集えるクリニックとして、健康相談を行います
- ・社会福祉法人のクリニックとして、生活困窮をかかえる方々の医療をささえます

彩光苑だより 第41号

ふれあい

発行 社会福祉法人 恩賜 済生会

支部埼玉県済生会彩光苑
〒344-0051

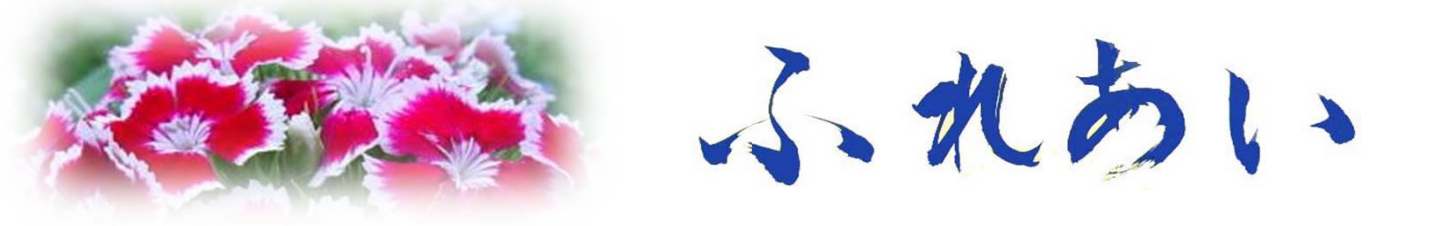
春日部市内牧3149

発行者 所長 田嶋 襄

編集 広報委員会

発行日 平成26年1月25日

特別養護老人ホーム彩光苑 ・ ケアハウス彩光苑 ・ 内牧クリニック



あけましておめでとうございます。平成26年1月2日、ケアハウス2階、娛樂室にて『書初め』が行われました。今年初の書道ということもあり、入居者様は、集中し真剣に筆を走らせていました。今年の干支である『馬』という字を書く方が多く、『天馬行空』という難しい四字熟語を書いている方もいました。それぞれ字を書くことを楽しまれていました。

topics



- 新年のごあいさつ - 彩光苑所長 -
- 新年のごあいさつ - 内牧クリニック院長 -
- クリスマスパーティ
- 特集「施設で働く職員」Vol.3
- ふれあい広場参加



別紙(増刷)

- ・特養グループ企画
- ・寿司奉仕
- ・手打ちそば
- ・エムシオンズ
- ・幸せグループ
- ・デコボコ一座



今年も一年よろしくお願いいたします 職員一同

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、２０１４年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

まず、大晦日は、地元春日部市内牧出身の世界ボクシング協会スーパーフェザー級王者の内山高志選手が、世界タイトルマッチ戦に挑み対戦者の金子大樹選手を破り、見事８度目の防衛を樹立されました。心からお祝い申し上げます。内山選手は、昨年６月に当苑を慰問され、２時間半に亘り入居者様と交流を図っていただきました。この時、入居者様からは「これから何度もタイトルを防衛してください、テレビの前で応援しています」との激励のメッセージがありました。内山選手からは、「皆さんの期待に応えられるよう必ず勝利します」と心強い決意を述べられました。今回の勝利は、地元民にとりまして希望と勇気を再びいただき、ただただ感謝感激に慕っております。今後もますますのご活躍を期待しております。

さて、今年は、午年にあたります。午年は、過去のデータによれば景気が尻下がりになる傾向があると言われています。この４月からは、消費税が８％になります。介護施設では、介護報酬の収入が限られており、この３％アップの影響が施設運営に影響を及ぼすことは否めません。平成２６年度の予算編成には、重要な要素として考慮しなければなりません。その財源を確保するために、全ての費用に対して精査し、一層の費用削減に努めてまいります。従いまして、職員はもとより施設利用者の方々におかれまして、今後いろいろな場面でご協力を賜ることもあるかと存じますので、その節はご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

今年の彩光苑のスローガンは、「信頼」「信用」としました。このことは、誰しものが信頼関係なくして物事は成立しないことは分かっていますが、この関係が崩れることが間々あります。私たち高齢者福祉事業に携わる者にとっても「信頼」されることで、多様なサービスを提供することができます。今年は、職員と入居者様または施設とその関係者との信頼を、より一層築くために最善を尽くしてまいります。

結びに、本年が皆様にとって素晴らし年でありますよう祈念すると共に、彩光苑並びに内牧クリニック事業のサービス提供におきましては、皆様の期待に応えられるよう、職員一同より一層精進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



内牧クリニック 院長 前川 勝治郎

皆様、明けましておめでとうございます

内牧クリニックは、３回目の新年を迎えることが出来ました。お蔭様で内科系の診療も大分定着し、時に外科系の方が来院され、また早期発見を目指しての消化器（胃・大腸）内視鏡検査件数も開設以来、総計１，０００例を超え、その内悪性疾患１５例を紹介しました。

これも一重に地域の皆様のご支援ご協力のお蔭と心より感謝しております。引き続き地域医療に専念していきたいと思えます。

昨年もいろいろな出来事がありました。一番印象に残っているのは、２０２０年東京オリンピック開催の決定ではなかったでしょうか。そして、「お・も・て・な・し」と言う言葉が、流行語の一つになっていたのも記憶に新しいかと思えます。オリンピックの開催は国民にとって明るい話題で、社会的にも向上心を抱かせるものの一つだと思いました。

気象現象では、雪が１月と２月中旬にあり、内牧での積雪は１月１４日の成人式の１回だけだったと記憶しております。また、３月１０日は午後から空がどんよりと灰色から土色に変わり（黄砂）、診療所の玄関先まで砂が溜り、夏は異常気象の為か、各地で竜巻、雷雨、豪雨が起り、毎日の天気予報は常に目を惹かせ、通勤では自転車の籠に雨カッパ、カバンの中には携帯用折りたたみ傘を保持しておりました。

近隣の方々との”ふれあい”の市民講座は、９月４日に内牧公民館で「健康な生活を送るために」、１０月２６日に栄町会館で「認知症について」の講演をさせて頂きました。いずれも多くの方に参加していただき、小生にとってもその後の診療に役立ち良い勉強になりました。

今年は「うま」年、干支の７番目です。調子に乗らず、診療が「うま」くいきますように願いを込めて、また１年頑張っていきたいと思えます。

今年も皆様のご健勝とご多幸を祈念し、これまでと同様にご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



今年から１２月を「クリスマスMonth」とテーマを掲げ、１２月上旬から玄関ホールの装飾を行いました。また、１２月１９日から２５日を「クリスマスWeek」とし、各食堂やステーション等に音楽を流して、クリスマスの雰囲気を楽しんでいただきました。

１２月２４日のクリスマス会当日、特養ではグループ職員による歌の披露やハンドベルの演奏を行い、入居者様から満面の笑みが見られました。また、職員扮するサンタクロースからプレゼントをお渡しすると、大事そうに抱えこみ大変喜ばれていました。

ケアハウスでは、クリスマス会を主催する行事实行委員会対ケアハウス職員による歌とハンドベルの真剣勝負を行いました。（勝敗は下記の写真をご覧ください！）

その後、プレゼントをお渡しし、入居者様と一緒に職員も楽しいひと時を過ごすことができました。





特別養護老人ホーム

グループ企画



映画鑑賞会「男はつらいよ」 /5グループ



11月30日、7月に続き映画鑑賞会を実施しました。今回の映画は、定番の「男はつらいよ」を鑑賞しました。今回もチケットを用意して、映画館のような雰囲気を感じていただきました。

参加された入居者様は久しぶりの映画を真剣にご覧になり、ジュースとお菓子を召し上がりながら多くの方々が声を出して笑い、とても楽しまれている様子でした。



買い物ツアーへLet's Go!! /5グループ



10月中旬から11月初旬の毎週日曜日、1便2名の入居者様を8便に別けて彩光苑近くのスーパーマーケットへ買い物ツアーに出掛けました。

参加された入居者様は送迎車の中で、いつもの車窓ドライブとは違う雰囲気にこれから何が起こるのかとワクワクされていました。店内では職員が付き添いをして、買い物のお手伝いをしました。久しぶりに見る様々なおやつの中からご自分の欲しい物を選んで購入していただきました。

皆様、購入されたおやつを持ち帰り、召し上がる時の笑顔がとても嬉しそうでした。参加された入居者様は、お買い物に満足され気分転換になったことと思います。



『春日部鮓商組合』による寿司奉仕が11月13日に行われました。毎年、苑の入居者様は皆、この日を心待ちにしています。職人さんによる握りの実演では、まぐろ、ほたて、コハダ、いくら等々、職人さんの楽しい解説を聞きながら見学し、「おいしそう」、「あのネタ何だい」とじっくり見入る姿がありました。そして昼食。おいしいお寿司をたくさん頂き、入居者の皆様からは満足の笑顔がこぼれていました。

美味しくいただきました

11月8日、2階のケアハウス食堂で田嶋所長と『春日部そば打ちクラブ』による手打ちそばが行われました。入居者様はそば粉を混ぜる作業やそばを練って伸ばす、切るといふ一連の作業を見学され興味を持たれていました。昼食の時間に出来上がったそばを入居者様に順に提供し召し上がっていただきました。みなさん笑顔で「おいしい」と喜んでおられ、おかわりをする方もいて満足されていました。食べ終わった方にはそば湯も提供され、蕎麦屋の気分を味わっていました。新そばをいち早く食べることができ大盛況に終わりました。



クリスマスウィーク エムシオンズ



12月22日、ケアハウス娛樂室で、ボランティアバンド『エムシオンズ』による音楽ライブが行われました。クリスマスが近いということもありクリスマスの曲を中心とした曲目で演奏されました。

入居者様も楽しみにされており、ギターやドラムの生の音に感動されていました。また、12月に誕生日を迎える入居者様にサプライズバースデーソングの演奏もあり、職員とバンドメンバーでお祝いし大変盛り上がりしました。最後は入居者様と一緒にクリスマスソングを歌い、一足早いクリスマス気分を味わいました。



12月25日、ボランティア『幸せグループ』の演奏会が行われました。オープニング曲は、ハーモニカ「琵琶湖周航の歌」。続いて「ソーラン節」、「花笠音頭」などお馴染みの民謡に手拍子で音頭をとり、その後幸せグループと入居者の皆様と一緒に「たき火」を合唱しました。ほっこり気分のは一転して、デジタルホーンが重厚に「津軽海峡冬景色」、「南国土佐を後にして」を奏でました。「ジングルベル」「聖しこの夜」などのクリスマスソングもありました。厳かなハンドベルの音色にクリスマス気分は最高潮に…。

締めくくりは「母さんのうた」と「四季のうた」のソプラノ独唱。目を瞑って聴き入る入居者様は昔を思い出していたのかもしれません。バラエティに富んだ曲目であつという間の1時間でした。幸せグループの皆様、素敵なクリスマスプレゼントをありがとうございました。

クリスマスウィーク 幸せグループ



デコボコ座 見参!



12月3日、『デコボコ座』による公演が行なわれました。「東京だよおっかさん」や「麦畑」等、一度は聞いた事のある歌に合わせて一座の皆さんによる愉快でユーモアあふれる踊りに、参加された入居者様からは笑いと拍手が沸き起こりました。入居者様の中には夢中で公演をご覧になり、感動され握手を求められる方もいらっしゃるなど、とても楽しい午後のひと時となりました。